



永平寺町

第32号

平成25年10月18日 発行

# 議会だより

わんぱる団体

永平寺町消防団

(※ 最終ページに紹介記事)



変わる高齢者対策 ②ページ

役場の仕事を深く見る ③ページ

そこが聞きたい! (議員14人が一般質問) ⑦ページ



永平寺町議会  検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

永平寺町議会  
facebook

訓練風景

# 役場の仕事を深く視る

予算へ反映

議会語り会  
テーマ

16件の事務事業評価開始

平成24年度決算 議会評価の事務事業

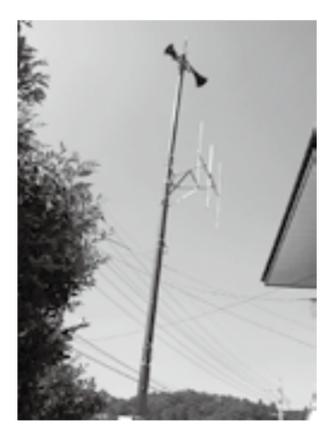
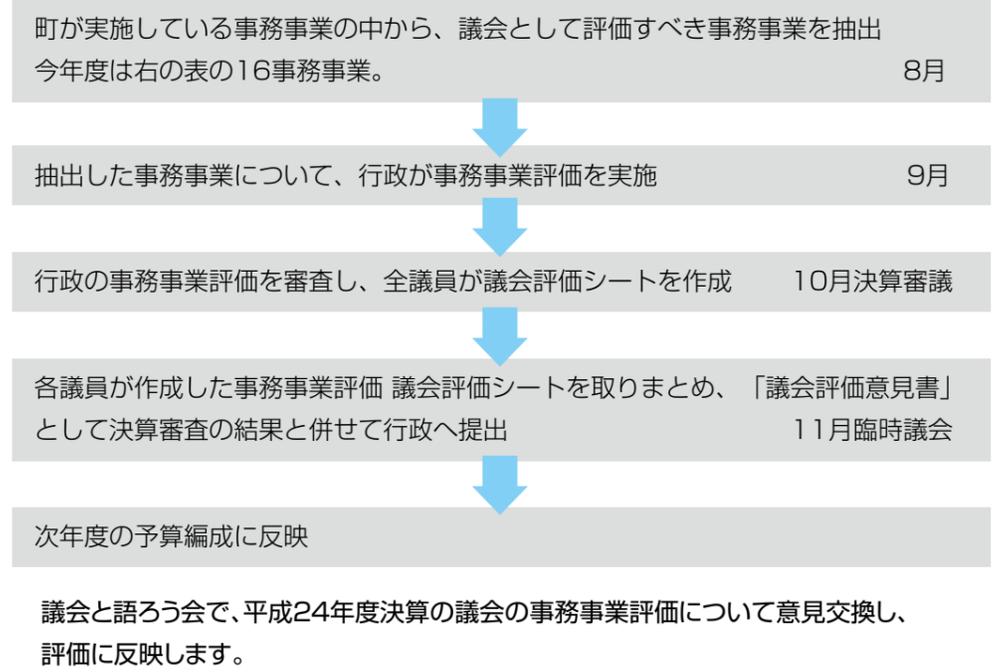
議会の  
事務事業評価  
とは

事務事業評価は、事務事業の適正化・効率化・質の向上を図ることを目的として、個々の事務事業のふりかえりを行い、見直しを図るものです。前年度に実施した事務事業をふりかえり、予算に反映していく仕組みです。



健診風景

事務事業評価の  
進め方

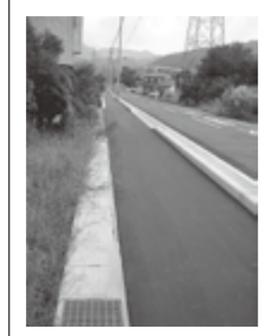


防災無線

No	議会評価の事務事業	所属課
1	地域コミュニティバス運営委託料	総務課
2	防災備蓄整備事業	
3	防災行政無線整備工事	
4	納税組合納税奨励金	税務課
5	消防団員報酬	消防本部
6	特定健診委託料	住民生活課
	特定保健指導委託料	
7	包括的支援事業委託料	福祉保健課
8	放課後児童クラブ嘱託職員賃金	子育て支援課
9	教室エアー搬送ファン設置工事設計委託	学校教育課
	教室エアー搬送ファン設置工事	
10	中学生海外派遣事業補助金	生涯学習課
11	健康福祉施設敷地整備工事	健康福祉施設整備室
	健康福祉施設建設工事	
	健康福祉施設付帯工事	
12	永平寺農工商ブランド発信協議会補助金	農林課
13	町道牧福島藤巻線歩道整備工事	建設課
14	松岡公園整備工事	上水道課
15	施設建設改良費	
16	パソコンリース料	商工観光課
	庁内ネットワークシステム保守委託料	
	サーバーリース料	



コミュニティバス



牧福島歩道工事



松岡公園工事現場

## 変わる高齢者対策

町の役割アップ 認知症の早期対策

### ☆社会保障改革

団塊の世代の人々が65歳に達して、国民の4人に1人が高齢者という現状をふまえて、本年8月21日に社会保障改革の手順を示した「プロگرام法案」の骨子が閣議決定されました。秋に召集される臨時国会の冒頭に提出して成立を目指しています。



### 社会保障改革のポイント

- ・70歳から74歳までの医療費窓口負担を1割から2割にもどす。早ければ2014年度から順次。
- ・高額療養費制度の充実。
- ・早ければ2014年度。
- ・国民健康保険の運営主体を市町村から都道府県に移行。2017年
- ・介護で「要支援」の人向けのサービスを市町村事業へ移行。2015年度めど。
- ・一定以上の高額収入がある高齢者の介護サービス自己負担の増額。2015年度めど

### 懸念される点

- ・70歳から74歳の医療費が1割から2割になると、年間負担額は4万5千円から7万4千円に増(国の試算)。
- ・国民健康保険の運営が変わると、保険料は年8千円ぐらい増。特定健診の追加の健診項目についても個人負担となり、現状維持が難しくなる。人間ドックの助成額の減額もあり得る。
- ・要支援1・2に支援サービスが地域支援事業へ移行すると、市町村によってサービスに格差が生じる可能性がある。

### ☆認知症の早期発見・早期治療

認知症は脳の病気です。早期に発見治療することで、病気の予防や進行を抑えることができます。本町は今年度から16力所の地域サロンで認知症の講演や採血、脳機能検査を実施している。

### 先進町の対応策

- ・認知症の対策に看護師や保健師など専門職を配置する。
- ・社会福祉協議会などのスタッフや保健師を対象に月1回専門の先生を招いて脳についての勉強会を開催する。
- ・認知症の方の存在を知るアンケート調査。
- ・役場で脳の理解促進と認知症啓発活動をする。
- ・老人会サロン・婦人会で認知症の勉強会や講習会を繰り返し開催し、認知症の知識を豊富にする。
- ・看護師や保健師が早期発見を目指して戸別訪問をする。
- ・認知症キャラバンメイト養成講座や小・中学生を対象にサポーター養成講座を開催する。地域・家族が協力して認知症発見に努めることが最大の予防策である。

# 旧京都電燈古市変電所(レンガ館) 外観保存の設計委託料

平成25年度 9月補正予算 総額 **6570万9千円** 可決

当委員会に付託された、平成25年度一般会計補正予算、平成25年度介護保険特別会計予算の2件について、9月12日に審議しました。

一般会計補正予算は、6570万9千円の増額補正で、主なものは、旧京都電燈古市変電所(レンガ館)外観保存に係る設計委託料のほか、若者定住推進支援補助金の増、子育て支援事業計画策定

のための経費、小・中学校の教室にエアコンを設置するための調査委託料などです。

主な意見では、子育て支援事業計画は本町にとって有効なものとなるようなニーズ調査を。教室のエアコンは猛暑対策や消費税値上げなどから早期設置を求めました。

## 以下、主な質疑応答です。

### 企画財政課

問 若者定住事業の実績は、4月から7月で14件(46名)の申請がある。

問 レンガ館の館内利用を地元の方が考えていた。使えなくなったことへの対応は。

答 協議会や地元民に説明会を行っている。既存の駅舎の活用も考えている。

問 子育て支援事業計画のねらいは。

答 幼児保育サービス、児童保育などに力点を置いた計画にする。

問 本町に有利なものをつかめるように。調査内容は、国からの必須項目と町独自の項目も入れることができる。

問 学校のエアコン設置のための経費であるが、実施設計をし、早急に行うべきだ。給食費無償化はすぐ行ったのに。

答 受電設備が違うので、十分検討する必要がある。来年度から取り急ぎ行いたい。

## 特別委員会報告

### 「事務事業評価」を導入

議会での「事務事業評価」の協議を行い、平成24年度の決算審議で導入

議会行政改革特別委員会

委員長 川崎 直文



「事務事業評価」の導入について、7月2日(火)総務課、8月6日(火)予算決算常任委員会委員長・副委員長、9日(金)常任委員会委員長・副委員長の協議を行いました。

8月19日(月)の全員協議会で事務事業評価方法・日程を説明し、行政から提出された平成24年度事務事業評価 事務事業名細事業一覧より各常任委員会へ議会で評価対象の事務事業の抽出を依頼しました。

8月30日(金)の全員協議会で、各常任委員会から抽出された事務事業を確認し、16の事務事業について議会で評価を行うこととしました。

9月20日(金)に議会評価の16事務事業の行政の事務事業評価が提出されました。

予算決算常任委員会の決算審議(9月25日(火)〜10月18日(金))で抽出した16事務事業の行政評価を審査し全議員が議会用評価シートで評価を行います。

(当議会だより2・3ページを参照してください。)



永平寺町議会議長 伊藤 博夫

## 議会と語るろう会で

## 生かそう町民の声

町民の皆様におかれましては、日頃より議会運営・議会活動に関心をお持ち頂き、心から感謝申し上げます。昨年8月1日に「議会基本条例」が施行され、町民と議会が協働する町民の視点に立った議会運営を心がけております。

さらに、町民の意見を予算に反映いたしたく、今年度は決算書から各常任委員会別に抽出した事業を、各議員が行政より提出された事務事業評価に基づき検証し、議会内で議論・審議し、行政に進言してまいります。

「議会だより」(2・3ページ)に掲載しております事務事業評価システムと高齢者対策等の施策をご理解していただき、また、その他についても、「議会と語るろう会」で、皆さんのご意見をお聞きし、来年度の予算に取り入れるよう、行政に提案してまいります。

町民総参加の「まちづくり」となるよう、「議会と語るろう会」へぜひお越しください。多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

## 平成25年 第5回定例議会報告

平成25年第5回永平寺町議会定例会は、9月4日(水)~18日(水)まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

議長 伊藤 博夫

### 第5回定例議会議案

承認第6号 平成25年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第36号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決
報告第2号 平成24年度財政健全化判断比率等の報告	報告	議案第37号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第31号 平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定	可決	議案第38号 町道の認定	可決
議案第32号 平成24年度上水道事業会計の決算認定	可決	議案第39号 町道の廃止及び認定変更	可決
議案第33号 平成25年度一般会計補正予算	可決	陳情第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書採択	採択
議案第34号 平成25年度介護保険特別会計補正予算	可決	陳情第6号 道州制導入に反対する意見書採択	採択
議案第35号 税条例の一部を改正する条例の制定	可決		

### 税条例等の一部改正

総務常任委員会  
委員長 長谷川治人

本委員会に付託されました案件を慎重審議の結果、可決・採択されました。

- 議案第35号 永平寺町税条例の一部改正  
……………(可決)
- 地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、改正。①公的年金からの特別徴収に関する一部改正②金融商品に係る損益通算範囲の拡大とともに、公社債等に対する課税方式の変更。
- 議案第36号 永平寺町国民健康保険税条例の一部改正  
……………(可決)
- 前条に準じ、改正。金融商品に係る損益通算範囲の拡大、公社債等に対する課税方式の変更など国税の算定に係るもの。
- 議案第37号 永平寺町火災予防条例の一部改正  
……………(可決)
- 消防法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い改正。検定対象機械器具及び自主表示対象機械器具等の品目の見直し。
- 陳情第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書の採択  
……………(採択)
- 陳情第6号 道州制導入に反対する意見書の採択  
……………(採択)
- 行政報告 トミ建設㈱の自己破産について

### 町民主体の町づくり

教育民生常任委員会  
委員長 長岡千恵子

当委員会は9月定例議会中の9月13日に委員全員出席で開催しました。本定例会での付託案件はありません。

- ☆その他
- ・温泉利活用で介護予防とあるが、誰を対象とするのか
- ・「禅の里」温泉の送迎バスは町内のみにすべき
- ・温泉での虚弱高齢者の対応はどうするのか
- ・保健師は事務処理ではなく本来の職務に徹すべき
- ・有資格者や資格取得のため勉強中の人材の採用を拡大すべき
- ・7小学校と3中学校の制服を統一しては
- ・吊天井の耐震性について国と自治体の間に格差がある。専門家の配置が必要
- ・文化祭は従来通り3カ所開催が参加しやすいなどの意見があり説明を受けた。



永平寺温泉「禅の里」

### 町道の認定、廃止及び認定変更

産業建設常任委員会  
委員長 川治 孝行

本委員会に付託された案件  
議案第38号  
町道の認定について  
議案第39号  
町道の廃止及び認定変更について

2件を審議しました。

第38号・第39号いづれも中部縦貫自動車道及び国道416号の道路改良と一般県道「栃神谷鳴鹿森田線(機能補償道路)」の完成による、町道認定と路線の廃止及び路線の認定変更をするものであり、道路法第8条2項及び道路法第10条第3項に基づく議会への議決を要する議案であります。

#### 「誘客について調査・研究」

「議会と語ろう会」で、永平寺町には多くの素晴らしい観光地や場所、施設があるのに、案内看板が少ないという声を多くいただいております。委員会として、町内、近隣市町の案内看板をはじめ、町内への誘客について調査・研究します。



他市の観光案内看板

### 消防団員減少に歯止め、増員対策を

答 サポート事業等前向きに検討

問 定員315名、現員286名、29名減の状況。近年、災害の多様化で消防団の存在感は増大しその役割は不可欠。町民の付託に応えるには団員の適正な人数の確保や高度な技術習得が重要。この秋の臨時国会には、団員の減少を食い止め、地域防災力を高める為の「地域総合防災力整備促進法案」が提案される。この法律による

消防長 法案成立後、前向きに対処したい。法案とは別に消防団に加入する積極的な税制優遇の特典や自治体が支給する報酬、出動手当の補助制度も期待している。  
町長 日頃活躍されている団員に、どういう形でサポート事業が出来るか十分検討していく。

### 永平寺地区体育祭は 全集落参加で

答 今後とも全力尽くす

問 今年、永平寺地区全体が参加しての開催となったことは大変喜ばしい限り。望まれることは、全集落区長の後押しと体育祭の今後の継続を。  
生涯学習課長 今後の継続も視野に入れ、区長、スポーツ推進委員に働きかけ、全力を尽くしていく。

## 問&答

# そこが聞きたい!

一般質問

14名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

### 問 「禅の里」事業は共存共栄の精神で

答 すみ分けて共に魅力アップを図る



長谷川治人議員



永平寺門前

問 この事業は、2029年の2世・孤雲懷奘禪師750回大遠忌に向けた事業で、総事業費70億円とも。資金計画を含め町のかかわりは。ご本山は地域貢献も十分考えており、町も地域を含め共存共栄の精神で推進を。  
商工観光課長 現段階では、具体的な資金計画は示されていない。大本山永平寺には、修行道場として境内環境を整備、その魅力向上を図って頂く。町は門前街の景観整備等を整え観光地としての魅力の向上を図っていく。

# 問 通学路の安全対策の対応は

## 答 警察、道路管理者と協議していく



川治 孝行 議員

**問** 通学路は、生活道路の一部であり、生活道路が安全でなければ通学道路も安全ではない。子ども達にとって安全な道路環境は、高齢者や健康者も安全な道路環境でもある。機能補償道路が開通し、中部縦貫道路も大野から上志比区間が開通し、町内の交通形態は大きくさまざま変わりをした。この事から次の点について問う。

**問** 永平寺町には通学路に関する条例と要綱が有るか？  
**学校教育課長** 条例、要綱は定めていない。  
**問** 通学道路は誰が指定するのか。  
**学校教育課長** 通学区域の交通事情を把握し学校が通学路を指定している。  
**問** 通学道路の指定は事前に保護者及び関係機関と協議し、道路整備に合

わせ指定しているのか。  
**学校教育課長** 保護者の意見を参考に交通事情と安全面を配慮し指定している。  
**問** 通学路の指定変更や新規指定についての対応は。  
**学校教育課長** 警察、道



機能補償道路横断歩道 (轟通学道路)

路管理者と協議している。  
**問** 機能補償道路の開通に伴い幾度となく信号の設置を要望してきたが、交通量の状態を見ての事。轟地区では、供用開始前に交通安全講習会と現地指導を受け児童生

徒、高齢者に安全指導を徹底してきた。また、供用開始後に於いても3日間区民が自主的に交通量調査を実施した。  
調査結果は信号器の設置要望書にも添付し、地元では出来る限りの啓発と関係者への働きかけをしている。教育委員会はどのような対応をしたのか。  
**学校教育課長** 機能補償道路横断箇所4ヶ所に黄色の横断旗を設置し、朝の時間帯に見守り指導を実施した。

【その他の質問】  
「学校の施設整備について」

# 問 永平寺温泉「禅の里」の利用状況は

## 答 8月末で13,503人利用(一日平均275人)



連日盛況の「禅の里」館内

**問** 中部縦貫自動車道の 大野・上志比間が3月、

**答** 早急に取り付ける  
**問** 観光案内板の設置を早急に

7月には機能補償道路が開通し、運転する人は永平寺温泉また、上志比地区の観光地に訪れるのに大変混乱している。町



連日盛況の「禅の里」

の公共施設も含め、早急に案内板の設置を。  
**福祉保健課長** 永平寺温泉の案内板については、国道、県道の主要交差点(上志比IC交差点、他3ヶ所)に9月末までに設置する。

**問** 「禅の里」の、町内外の利用者の割合は。  
**福祉保健課長** 今日までの町外利用者は約4割。休日には県外、町内外の人で大変混んでいると聞いているが、どのように対処しているのか。  
**福祉保健課長** 休日

# 問 耕作放棄が予想、農地保全策は

## 答 土地利用計画により取り組む



多田 憲治 議員

**福祉保健課長** 8月末で40人の利用者があったが、今後はアンケートで意向調査を行い、イベント等を開催し連絡バスの利用増に結びつけたい。  
**問** 指定管理者が行う町内の6人以上無料送迎の範囲を、交通の便の悪い隣接勝山市の北郷町、荒土町、鹿谷町迄優遇出来ないか。勝山市の利用者の声がある。  
**福祉保健課長** 指定管理者の判断に任せる。



小畑 傅 議員

**問** 本町基幹産業の米、在庫の米が売れていない。ハナエチゼンで60kgあたり前年比千円下がっている。コシヒカリはこれからだが、このままでは農業経営が非常に厳しいと予想される。TPP交渉も絡み先行きが不透明で、次の世代に農業が繋がるか気が重い。必然的に今後耕作放棄地が増えることが予想されるが、農地の保全対策はどのようなになっているのか。  
**農林課長** 国の個別所得



松岡地区の圃場 (8月)

補償制度に基づき①食の安全、安心や環境に配慮した生産性向上の為の農業構造改革補助金の交付。②コスト削減を図り認定農業者・担い手育成を推進、生産基盤の整備や改修を支援。③農地の利用権設定を推進、農地の集積化支援。④ネット柵など鳥獣害対策の支援。⑤農用地見直しによる優良農地確保、都市計画と適合した土地利用計画により農地保全に努める。

**問** 国の社会保障制度改革を見て

**答** 国の動向を踏まえ対応したい

**問** 「受給と負担が見合わない社会制度は、いず

**住民生活課長** 財政基盤の安定化のため国保財政運営を県が担うとするが、課題も多く29年度までに移行と想定している。内容的にはまだ明確に示されていないが仮に統一した場合、24年度県平均一人あたり保険税9万4千円、本町は8万6千円と8千円の差があり国保税が上がるのが想定される。

は避けられない」としている。世代間扶養や借金での給付財源のあり方と将来世代への付け回しをなくすとした。そんな中国保の運営を市町から県が財政責任を負うとしたが、国保税値上げが心配されるが。

【その他の質問】  
「健康福祉施設「禅の里」温泉の利用状況は」



原田 武紀 議員

### 問 国保運営が県移管…その影響は

#### 答 町独自サービス継続に懸念もある

**問** 社会保障国民会議の改革報告書を踏まえ、政府は8月21日法整備や実施時期を定めた「プロگرام法案」の骨子を閣議決定した。その中で、国保の課題として、赤字構造や小規模町村の不安定な財政運営、市町村間の保険料格差を指摘、課題解消のため「平成29年度までに、国保運営を市町から県に移管する」とある。

**答** これ等町独自のサービス継続に懸念もあるが、保険料の賦課徴収、保健事業等は、引き続き市町が担うことが適切で、市町の保険料収納や医療費適正化への取り組みを尊重する制度の検討も入っている。現状から少しでも後退しないよう、今後の県との調整に臨みたいと考えている。

る。本町への影響は。

住民生活課長 保健事業、本町は平成22年度から県内で唯一無料健診を実施、また、心電図、眼底、貧血検査等も追加、充実した内容で、人間ドック受診助成額も県内トップクラスである。

業、本町は平成22年度から県内で唯一無料健診を実施、また、心電図、眼底、貧血検査等も追加、充実した内容で、人間ドック受診助成額も県内トップクラスである。



上坂 久則 議員

### 問 松本町長、町長選挙に出馬表明

#### 答 町政を担う覚悟、明確に出馬表明

**問** 来年二月の町長選挙、町政を担う覚悟は。

**町長** 今、課題が山積みしている。課題解決の為に、前進させることが責務と考えている。町民皆様のご理解とご支援を得られるならば、引き続き町政発展に尽くしていきたい。

**問** 過去の事業実施で111本(ソフト事業46本、ハード事業65本)成し遂げた。財政状況は。

**企画財政課長** 合併時の借金は203億円、現在146億円である。約57億円減額した。合併時の貯金(基金)は9億円、現在23億円。111本の事業は、町政の質向上に寄与したい。

**問** 低減されている地区の運営管理等の現況は。

**答** 一番大事な事として、町政とは首長の物とするのではなく、町民一人ひとりの気持ちに沿って立案し、それらを反映させ執行することが重要と思う。町民の信頼を基に、律しながら町政の質向上に寄与したい。

億円で14億円積み増しである。合計約71億円になり財政健全化に取り組んできた。

問 初当選後の町政を担った時の新町づくりへの思いと現在までの歩みと所感を。

町長 三町村の伝統を活かした町づくりと均衡ある発展を進めてきた。実施した事業の中でも、十数回の陳情して実現した松岡葉師の電車踏切(袋小路の解消)、中部自動車道路の進展、機能補償道路の開通等である。

### 問 なぜできない 公共料金(上水道)の統一

#### 答 上水道への接続後、統一したい

問 低減されている地区の運営管理等の現況は。

**答** 上水道への接続後、統一したい

上水道課長 昨年八月に加入し料金徴収、管理、水質検査等は町が実施している。

**問** 管理全般、故障修理でも町の負担、合併後通算金額は数万円も減額、町民は納得するか。

**上水道課長** 簡易水道から上水道への接続ができ、事業完了していないので、事業完了後統一したい。

**問** 町の不作為がないのに、減額していることは理解できない。

**【その他の質問】**「福祉政策による禅の里入浴料金の高齢者への補助」「歴史教育は誰が」



進めていかなければと思

たい。新しい道に対応し

### 問 ポイントカード事業を 支援すべき

#### 答 十分に相談に乗る

**問** 商工会でポイントカードの合併による成功例の講演会があった。今町内の3つのスタンプポイント会の合併の話がある。地元の商店界にとって、生き残りをかけた最後のチャンスだという人もいる。行政も支援してほしいが、行政がポイントを発行するという形もある。消費者も期待している。

**商工観光課長** そういう制度のあり方も考える必要がある。町内消費の拡大につながり、商工業が活性化し、町が発展するというものなら、今後協議していく。

**町長** 十分に相談に乗る。

### 問 定住促進が急がれるが、早くして

#### 答 町の潜在力・可能性を生かす

**問** 3月議会での町のTVコマercialが予算化されたが、まだ出てこない。定住促進が主な目的だろうが、消費税のアップを意識したら、この夏までには打つべきだった。

**答** 小中学校は統廃合しないと言うが、危ないのは志比北小だけではない。地区毎の細かい人口の動態を常に把握し、手を打っていかねばならない。

**町長** コマercialはも

南、志比北各小学校と、永平寺中学校武道場の計6施設。文科省の昨年9月指示の調査結果は4月に報告済みだが、今年8月に再度、国交省新基準に基づく総点検の指示があり、その結果を得て、必要な対策を講じる。

南、志比北各小学校と、永平寺中学校武道場の計6施設。文科省の昨年9月指示の調査結果は4月に報告済みだが、今年8月に再度、国交省新基準に基づく総点検の指示があり、その結果を得て、必要な対策を講じる。



吊り天井がある松岡小学校体育館



松川 正樹 議員



一般県道栃神谷鳴鹿森田線開通式

う少しでできる。1年で出生数は150人だが、亡くなる方は230人くらい。減ってはいるが、永平寺町は減り方が少ないのが特徴だ。新しいコマercialも作っていくつもり。全町的な子ども数のデータは絶えず知って、細かく対応してい

**【その他の質問】**  
「ふるさと創造プロジェクト松岡ルーツ館での活動を盛り上げるには」「複式学級について」「第2回子ども議会に触れて」



長岡千恵子議員

### 問 認知症の予防と対策は

#### 答 第6期介護保険計画に導入

**問** 町として認知症を早期発見するための施策とその内容は。

**福祉保健課長** 今年度より福井心の元氣プロジェクトの検査方法を採用し、16カ所の地域サロンで認知症の講演や採血、脳機能検査などの一次検査を行い、希望者には福井大学医学部付属病院で、二次検査を実施。結果の説明や助言を行い、認知症の早期発見、重症化の予防事業としている。

**問** 認知症は高齢者だけでなく若い人にも発症する。若い人への調査はされていないのか。

**福祉保健課長** 包括支援センターや民生児童委員に相談があった場合に個別に訪問している。



福井こころの元氣プロジェクト

**問** 健全なまま老後を過ごすには認知症の予防が必要。その施策は。

**福祉保健課長** バランスの良い食事指導・適度な運動の促進・疾病の早期発見のための元氣長生き健康づくり推進事業を実施している。集団検診等に参加する事が認知症予防の第一歩と考える。

**問** 町独自でアンケートは実施しているのか。

**福祉保健課長** アンケートは実施していない。平成27年度に第6期の介護保険計画の作成にあたり、日常生活地域ニーズ調査を行う予定。

**要望** 若狭町は認知症の予防と対策は非常に優

### 問 町の記録をデータ管理すべき

#### 答 手続きを踏まえば可能と思う

**問** 歴史ある松岡、永平寺、上志比地区、そして新しく永平寺町になってから多くの行事や事業があったが、写真や記録はどのように、どこに保管しているのか？

**副町長** 合併前の3町村で管理していた公文書等は、合併後にそれぞれの事務を所管する各所属に引き継がれているのが原則。

ただ、公文書等は各町村の規則、処務規程のもと、1年、3年、5年、10年、永年という保存期限に基づき保存をしている。合併前の公文書等については既に保存期限が過ぎ廃棄したものもあり、永年保存のものは残っている。

合併以降は、永平寺町



河合 永充 議員

役場処務規程を新たに制定し、区分に従い保存、保管し、各所属が日常的な仕事で使うものは手元保管し、通常見ることがないものは書庫で保管している。

**問** 整理されている書庫は今どこにあるのか？

**副町長** 本庁舎の中、永平寺支所、上志比支所、開発センターの一部を利用し所属ごとに保管している。

**問** 整理されている書庫は今どこにあるのか？

**副町長** 本庁舎の中、永平寺支所、上志比支所、開発センターの一部を利用し所属ごとに保管している。



昭和43年松岡地区での福井国体

### 問 社会教育の拠点 公民館のあり方は

#### 答 住民が地域で頑張り充実感を持てる



上田 誠 議員

**問** 今日激しく変化する社会にあつて、人づくり、地域づくり、豊かな生活が求められている。特に社会教育の拠点としての公民館の変革が求められている。生活課題、地域課題を解決する住民生活の充実、公民館活動の充実が基盤である。これからの公民館のあり方は。

**教育長** 地域の拠点として、この地域でよかつ

た、みんなの頑張りとお実感を感じられるような公民館が重要。バックアップのできる体制をつくっていく。

**問** 現状の公民館では、予算や受け皿となる組織の体制は他市町から見ても貧弱である。今後の方向は。

**教育長** 現状を把握し、どこまで応援できるか前向きに臨んでいきたい。

**問** 永平寺温泉「禅の里」の町内貢献状況について、従業員の町内・町外の人数は。原材料の購入は。

**福祉保健課長** 総従業員は12人で町外者は1人。食材は、米・タマネギ・ニンニクは町内産を使用。その他食材も地元のお店を利用している。町内の業者を利用できるように指導している。

### 問 「禅の里」温泉の町内貢献状況は

#### 答 できるだけ町内業者を利用

れていて認知症で入院する割合は他の市町の5分1である。是非参考にしたい。

**入先は。**

**福祉保健課長** 総従業員は12人で町外者は1人。食材は、米・タマネギ・ニンニクは町内産を使用。その他食材も地元のお店を利用している。町内の業者を利用できるように指導している。

### 問 文化活動は生活に潤いと活力の源

#### 答 文化祭の合同開催を今年から

**問** 文化活動の広がりとお実感は、町民の生活に潤いや活力の源となる。

**文化祭の基本は、地域での広がりや発表の場の提供が基本である。異論もある合同開催より、地域**

**別開催が有効である。**

**生涯学習課長** 合同開催は地域間の交流や各住民の意思の疎通、連携を図れる面や、個々の活動内容の励みや研鑽に繋がれる。

### 問 認知症対策 早期着手が最重要

#### 答 出来ることから実行する

**問** 認知症の対策は、早期発見と軽度からの対応や、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らす

**ことでの進行を遅らせる。早期発見の施策と正しい知識と不安や偏見をなくす活動が最重要。すぐに**

【その他の質問】  
「健康づくり推進施策の状況は」

**福祉保健課長** 必要と認識している。出来ることからやっていく。

**問** 講座や学習会等の啓蒙活動の実施と戸別訪問活動の計画を。

**福祉保健課長** サポーター養成講座は、県と相談し実行できることから行う。早期発見の施策は第6期介護保険計画に示し、実行していく。

**問** 取り組めるサポーター養成講座の開催や、早期発見の施策の実施を考えると。

**福祉保健課長** サポーター養成講座は、県と相談し実行できることから行う。早期発見の施策は第6期介護保険計画に示し、実行していく。

河合議員は10月7日をもって辞職しました。



金元 直栄 議員

### 問 町防災計画、女性目線での検証を

問 町防災計画は、これまでの大災害の経験や教訓から、女性の立場から

### 問 介護保険は、高齢者対策は

問 安倍政権は消費税増税は社会保障のためと公言してきたが、介護保険は要支援1・2を保険給付から外し、自治体の事業に任せるとした。町ではどこに問題が生ずると考えているのか。

副町長 同計画の見直しは、計画検討委員会を設け検討し防災会議に付したもので、委員には町保健師も1名参加し、防災会議にも女性委員2名が参加している。女性目線での修正や追加も行った。

### 答 十分検討している

副町長 町事業に移行しても、問題や課題を見極め、介護サービスを低下させないことが重要だ。高齢者対策は体制など十分考えていかなければならないと思っている。

### 問 制度から外れた方々の福祉は



齋藤 則男 議員

問 高齢者を含む制度から外れた谷間に置かれている人たちが、その人たちに對する福祉はどのように取り組んでいるのか、どのように取り組むべきなのか。

副町長 地域内のコミュニティ組織や社会福祉協議会からの情報提供をもとにし、地域の情報収集と見守り活動を続けていたことが必要、かつ重要なことだと考えている。



### 問 町の職員の研修は

答 望まれる職員像をつくるため必要

問 職員等の研修の状況等はどのようになっていくのか。

副町長 毎年計画的に県窓口職員の研修は



笑顔で対応する職員

### 問 地域包括支援センター運営現状は

### 答 社協内での連携も必要

問 高齢者を直接つかむ行政の窓口でもある地域包括支援センターは、昨年度から社協に包括的支援事業等（約1700万円）と共に指定管理委託したが、同センターの中

域連携が必要なことから、事務局のある部屋で運営している。同センターと共に委託した事業は、社協内の連携が必要で、独立しているだけでは十分な事業はできないと考えている。

のよう状況なのか

副町長 上司や先輩が仕事を通じて職場内研修を行っており、こうしたことを通じて、各窓口職員の資質の向上に努めている。

### 問 「環境基本計画」進行管理の強化

### 答 毎年点検し、白書として公表する



川崎 直文 議員

問 平成20年に策定した「永平寺町環境基本計画」は社会情勢等の変化に応じた柔軟な対応が必要であるため、5年を目処に総括し必要があるが見直しを行うとあるが、どのような状況か。



「永平寺町環境基本計画」「永平寺町地域新エネルギー 省エネルギービジョン」

環境課長 改定委員会（学識経験者、団体・住民・教育関係代表の10名）が取りまとめ

た素案を町長に提出し、その後、環境審議会での審議、パブリックコメントを経て改定する。改定の時期は来年の3月を予定。

問 「町環境基本計画」に「施策の実行状況の把握と公表」とある。庁内推進会議で報告書を取りまとめ環境審議会に報告するとともに、町民へ公表するとしている。公表されていない。進行

管理の強化が必要。環境課長 公表に至っていない。施策の実施状況は毎年環境審議会に取り

### 問 新・省エネプロジェクトの見直し

答 中間年に見直す

問 「永平寺町 地域新エネルギー 省エネルギービジョン」が平成22年の2月に策定されている。「町環境基本計画」のエネルギー関係の施策が展開されている。「町環境基本計画」と同時に見直しをかけるべきと思う。どのように見直しをかけるのか。

環境課長 ビジョンの対象期間（平成22年～31年）の中間年に当たる5年を目処に、見直しが必要かどうか検討する。問 県の1市町1エネルギーおこし事業では10の市町で協議会が設立されている。当町はどのような取り組み状況なのか。環境課長 小水力発電だけではなく、太陽光発電も含めて、検討している。

# 視察レポート

平成25年  
6月・7月・8月

## 自主防災組織の現状と活動状況

8月20日(火) 長野県伊那市役所

☆総合防災訓練は、発災対応型訓練を実施。事前に具体的な話もなく実践的に住民だけで行う訓練です。住民が自ら行うということで自信につながるようです。他に、電気・水道・トイレ使用禁止訓練では、子ども達にとっては相当厳しいようです。

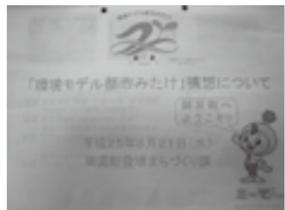


長野県伊那市役所

## 環境モデル都市構想の経緯と課題

8月21日(水) 岐阜県御嵩町役場

☆防災拠点における太陽光発電等を利用した、災害時においても一定期間エネルギー自給が可能な「自立型避難所群」構築は、非常に参考になりました。



ミーモ君

総務常任委員会

## 生産から加工販売までの6次産業

6月26日(水) 三重県伊賀市

伊賀の里モクモク手づくりファーム

- ・観光誘客の案内看板等について (PR方法・設置箇所・看板の表示内容)
- ・生産から加工販売までの一貫した工程内容
- ・観光地エリア内での販売方法と「観光客がまた来なくなる」誘客対策について

## 獣害対策

6月27日(木) 三重県伊賀市

三重県中央農業改良普及センター

- ・被害の現状と要因について
- ・集落ぐるみの体制づくりは
- ・被害防止対策と今後の課題
- ・今後の獣害対策



三重県中央農業改良普及センター

永平寺町でも、参考になる取り組みが多々ありました。今後の委員会活動に生かしていきます。

産業建設常任委員会

## 認知症の予防と対策

7月31日(水)～8月1日(木)

福井県若狭町 三方健康センター

- ・認知症予防対策。地域や高齢者に対する働きかけ。
- ・高齢者が安心して暮らすための行政の取り組み。



若狭町三方保健センター

愛知県大府市 大府市役所福祉課

- ・重点施策は。地域包括支援センターとの関係。および課題は。
- ・地域包括支援センターは地域に対する役割は。

## 障害者の就労施設のあり方

滋賀県彦根市 ひかり福祉会

- ・障害者の就労施設や入所施設を設立する経緯。
- ・障害者に就労施設での仕事はどのように確保しているのか。仕事の内容は。

教育民生常任委員会

# 問 “公共施設のあり方”を早く示せ

## 答 基本調査はできている



滝波登喜男議員

**問** 町は、公共施設のあり方改善の方向性を、27年度末に示すと言われているが、合併して10年後では遅すぎる。合併支援金が徐々に減り、箱物新規事業も目押し、財政的に厳しくなる。調査の進捗状況と課題は。

**答** 監理課長 学校施設などを除く59の建物を対象に、利用人数や運営状況、コストなどを担当課より聞き取り調査した。こ



旧上志比公民館 体育館部

れらをもとに今後のあり方を検討していく。課題については、例えば生涯学習施設の松岡と上志比の両公民館は耐震性の確保です。施設の必要性、地域性、使用頻度及び利用目的等を踏まえ、維持管理形態や統廃合についても検討していきます。

でも訴えられ、より効果的ではないか。また、温泉の浴槽が隣の白湯のものより小さい。入れ替えはできないか。

**福祉保健課長** 鉄分を除去して温泉水を利用している。なるべく除去した方が、熱交換器やポンプなどに負担が少なく、長期使用ができるから。

また、浴槽の大きさは湯量との関係です。露天風呂と室内風呂で9.2㎡、白湯は8.5㎡で、温泉の方が大きい。

【その他の質問】  
「社会福祉協議会からの理事選考に関する調査」



## 永平寺町議会の議会改革

去る7月27・28日に、東京で「市民と議員の条例づくり交流会議2013」が開催され、町民と永平寺町議会の対話とコミュニケーションツールの取り組みについて報告しました。

「議会改革白書 2013版」に 当町議会の記事(つながる『議会と語ろう会』)が掲載されています。また、三菱総合研究所の米山知宏氏執筆の記事「議会の日常や裏側を伝える永平寺町のfacebook」も掲載されています。町内の図書館に同書籍がございますので、ぜひご覧ください。



# 地デジ 121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2013年10月25日(金)～10月28日(月)

時	10月25日(金)	10月26日(土)	10月27日(日)	10月28日(月)	時
7	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会②	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 齊藤則男議員	00 一般質問(1日目③) 上坂久則議員 松川正樹議員 長岡千恵子議員	7
8	41 文字告知放送	39 文字告知放送	01 文字告知放送		8
9	00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 小畑博議員	00 本会議	00 一般質問(2日目③) 川崎直文議員 滝波登喜男議員	06 文字告知放送	9
10	38 文字告知放送	56 文字告知放送	23 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 上田誠議員 金元直栄議員	10
11	00 一般質問(1日目②) 川治孝行議員 原田武紀議員		00 予算決算常任委員会①	50 文字告知放送	11
12	27 文字告知放送		10 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 齊藤則男議員	12
13	00 一般質問(1日目③) 上坂久則議員 松川正樹議員 長岡千恵子議員	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会②	01 文字告知放送	13
14		41 文字告知放送	39 文字告知放送	00 一般質問(2日目③) 川崎直文議員 滝波登喜男議員	14
15	06 文字告知放送	00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 小畑博議員	00 本会議	23 文字告知放送	15
16	00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 上田誠議員 金元直栄議員	38 文字告知放送	56 文字告知放送	00 予算決算常任委員会①	16
17	50 文字告知放送	00 一般質問(1日目②) 川治孝行議員 原田武紀議員		10 文字告知放送	17
18	00 一般質問(2日目②) 金元直栄議員 齊藤則男議員	27 文字告知放送	00 町長招集あいさつ	00 予算決算常任委員会②	18
19	01 文字告知放送	00 一般質問(1日目③) 上坂久則議員 松川正樹議員 長岡千恵子議員	41 文字告知放送	39 文字告知放送	19
20	00 一般質問(2日目③) 川崎直文議員 滝波登喜男議員		00 一般質問(1日目①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 小畑博議員	00 本会議	20
21	23 文字告知放送	06 文字告知放送	38 文字告知放送	56 文字告知放送	21
22	00 予算決算常任委員会①	00 一般質問(2日目①) 河合永充議員 上田誠議員 金元直栄議員	00 一般質問(1日目②) 川治孝行議員 原田武紀議員		22
23	10 文字告知放送	50 文字告知放送	27 文字告知放送		23

## 議会・各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 △：遅刻 早退 ー：員外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑博	滝波登喜男	金元直栄	齋藤則男	長岡千恵子	原田武紀	川治孝行	川崎直文	多田憲治	上坂久則	長谷川治人	松川正樹	渡邊善春	河合永充	上田誠	酒井要	伊藤博夫
6月26日	産業建設常任委員会建視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月2日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月5日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月5日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月12日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月31日	教育民生常任委員会建視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月14日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月19日	地域振興研究会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月19日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月20日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月20日	総務常任委員会建視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月23日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月30日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月4日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月9日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月10日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月13日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月13日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月17日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月18日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	18	19	17	15	22	17	16	20	17	14	17	20.5	17	18	17	12	14
	会議回数	18	19	17	15	22	17	17	20	17	15	17	21	18	18	17	15	14
	出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	100%	100%	93%	100%	98%	94%	100%	100%	80%	100%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様へ議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!

## 7/17 町東西の交通円滑化へ 県道開通式



一般県道栃神谷鳴鹿森田線(牧福島～花谷) 4.9kmが供用開始されます。その前に開通式が行われ、議員14名が出席しました。朝夕の渋滞緩和が期待されます。

## 8/9 委員長・副委員長研修



町議会委員長・副委員長研修会に議員10名が参加し、具体的な事例をもとに、委員会の運営について学びました。

## 8月上旬 永平寺大燈籠ながし「帆書き」



8月25日に開催される「九頭竜フェスティバル 2013・永平寺大燈籠ながし」のボランティア活動として、供養燈籠の帆書きのお手伝いをさせていただきました。

## 8/22 若狭町議会 来町

福井県若狭町議会の議会改革特別委員会の委員ら9名が当町議会に「基本条例」「議会と語ろう会」「情報伝達」等についての視察のため、来町しました。



## 9/2 平成25年度町議会議員研修会



平成25年度町議会議員研修会があり、「議会運営のあり方等について」市町村アカデミー客員教授の大塚康男先生の講義を受けました。今後の議会や議員活動に生かしていきます。

本議会以外にも  
さまざまな活動があります。

## 8/23 石川県能登町議会 来町



石川県能登町議会の議員ら9名が「議会改革」についての視察のため、来町しました。当町議会の議員にとっても、勉強になります。

町の活力!

# かんぱる団体

## 永平寺町消防団

永平寺町消防団は、10の分団の他、女性分団や大学生防災サポーターを含め、総団員数286名。団員の平均年齢は39.8歳で、働き盛りの方が半数以上占めています。

### 消防団の使命

消防団は、本業を持ちながら「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域のために活躍しています。

消防防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時の消火活動や大規模災害発生時における救助活動、警戒巡視、避難誘導などに従事しています。

### 県消防操法大会で優勝

町や県の消防ポンプ操法大会は毎年行われ、県大会優勝3回、準優勝1回、3位2回。平成18年には全国大会にも出場しました。

今年の県大会に出場し見事優勝した第10分団の角谷分団長は「優勝は大変うれしく誇りに思う。それ以上に、選手は厳しい訓練・指導に耐え、他の団員は選手のサポートに回り、一致団結できたことが大変良かった。この成績におごることなく、今後も一層地域住民の安全確保をしていきたい」と話していました。

今後の展望  
大学生防災サポーターには福井大学医学部の学生38人が入団し、大規模災害時の救護活動に従



第62回県消防操法大会(小型ポンプ操法の部)で優勝した第10分団のみなさん

事、今まで6名だった女性消防団員を10名増員し、火災予防の広報活動や独自に作成した紙芝居で幼児の火災予防普及に努めています。

永平寺町の若い世代が「町を災害から守る」という強い意識を持ち、消防団に入団して、新たな力として活躍していただきたいです。

### 自由なご意見、お聞かせください

10月 **22日(火)** 午後7:30~

- 吉野集落生活改善センター ●中島生活改善センター
- 飯島集落生活改善センター ●永平寺町商工会館

**23日(水)** 午後7:30~

- けやき台自治会館 ●芝原3丁目区民会館
- 浅見集落生活改善センター ●吉波集落生活改善センター

**28日(月)** 午後7:30~

- 市右エ門島集落センター ●花谷集落生活改善センター
- 葵2丁目会館 ●平成区集会所

【テーマ】

- ①変わる高齢者対策 ②役場の仕事を深く見る ③その他の意見交換

# 議会語り会

※「部局のみなさんへ」  
「米場」VTRも

## 編集者のひと言

最近、アニメ作家・宮崎駿氏が引退の弁の中で、「人生は生きるに値する」ということを、いかに子どもたちに伝えるかが仕事の根幹であったと述べられていた。私のような凡夫には、すっかり脱帽の体だが、それでも子どもを預かったり、子どもたちを導いていく立場にあるからには、同じようなことを何らかの形で伝えなければという思いはあり、実際、中学生たちの前でそういうことを喋ったことも何度があった。

ところが、先日、第2回「子ども議会」に、20名の中学生議員の一般質問に触れ、逆に大人の私が子どもから「人生は生きるに値する」と諭された気がした。生きていくことに大人も子どもも本質的に違いがないのだろう。

(松川 記)

- 議会広報特別委員会委員
- 委員長 波邊善春
  - 副委員長 松川正樹
  - 委員 小畑 博・長岡千恵子
  - 川崎 直文
- 発行責任者 伊藤博夫